

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月13日更新

事務事業名		公園台帳整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	坂口 和也
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	橋本 達郎
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	都市計画班	(内線)	2234
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 2	事業連番 10131	法令根拠	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	今年度に告示した公園と内容変更があった公園について、施設状況等を把握する公園台帳を都市公園法で整備する旨規定されているため、業務委託し整備を行っている。近年開発行為が多数あり、その基準に基づく公園も増加し、また老朽化等による既存公園の改修もあり台帳の修正も多くなっている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	公園現地確認・基礎資料整理・見積・委託業者決定・契約・検査・支払い
【主な予算費目】	13委託料
【意見や要望】	台帳管理からデータ(システム化)化の流れがある
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
新規公園の台帳確認、名称決定(告示)をおこない業者と打合せ、概要確認・台帳整理・委託業者決定・見積・契約・検査・支払い		新規公園の台帳確認、名称決定(告示)をおこない業者と打合せ、概要確認・台帳整理・委託業者決定・見積・契約・検査・支払い
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 箇所	予算の主な増減の理由
→ア:台帳記載公園数		平成22年度当初予算0円、補正予算455千円。前年度が骨格予算であったことによる増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等公園		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 箇所
		→ア:公園数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正に台帳管理を行うことにより現況を把握する		(単位) 箇所
		→ア:台帳整備公園数
		→イ:台帳整備率
		%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
公告を行った公園の台帳整備を行うことは必須であり成果を示す数値として適切であるとする		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
①活動指標	ア	箇所	6	3	3	4	3	4	4
	イ								
②対象指標	ア	箇所	148	154	154	158	162	166	170
	イ								
③成果指標	ア	箇所	148	154	154	158	162	166	170
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	389	381	455	409	455	455	455
	(A)事業費計	千円	389	381	455	409	455	455	455
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	55	49	50	60	50	50	50	
(B)人件費計	千円	220	195	199	247	206	206	206	
トータルコスト(A)+(B)	千円	609	576	654	656	661	661	661	

総トータルコスト
全体計画
～年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	公園台帳整備事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 適正に管理されているため <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 データ化することにより、より効率的で正確な管理が可能となるが、インシヤルコストが必要である <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 システム化することにより削減の余地はあるが、インシヤルコストが必要となる <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の人件費である <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 公園台帳整備を行うことは必須であり公平である <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 本事業は行政が行うべきものである <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

公園数も増加し施設に対する安全安心対策や長寿命化計画策定に向けシステムの導入を検討する時期である。台帳管理としては適切であるが、合併時の両町の様式統合ができていない面もあり共通様式に変更を行っているところである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						